

日興五大陸株式ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第67期（決算日2023年2月16日） 第68期（決算日2023年5月16日）

作成対象期間（2022年11月17日～2023年5月16日）

第68期末（2023年5月16日）	
基準価額	11,749円
純資産総額	19,962百万円
第67期～第68期	
騰落率	2.3%
分配金（税込み）合計	480円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示⇒運用報告書タブを選択⇒該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興五大陸株式ファンド」は、2023年5月16日に第68期の決算を行ないました。

当ファンドは、先進国株式および新興国株式に投資を行ない、先進国株式指数と新興国株式指数を合成した指数の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<940755>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

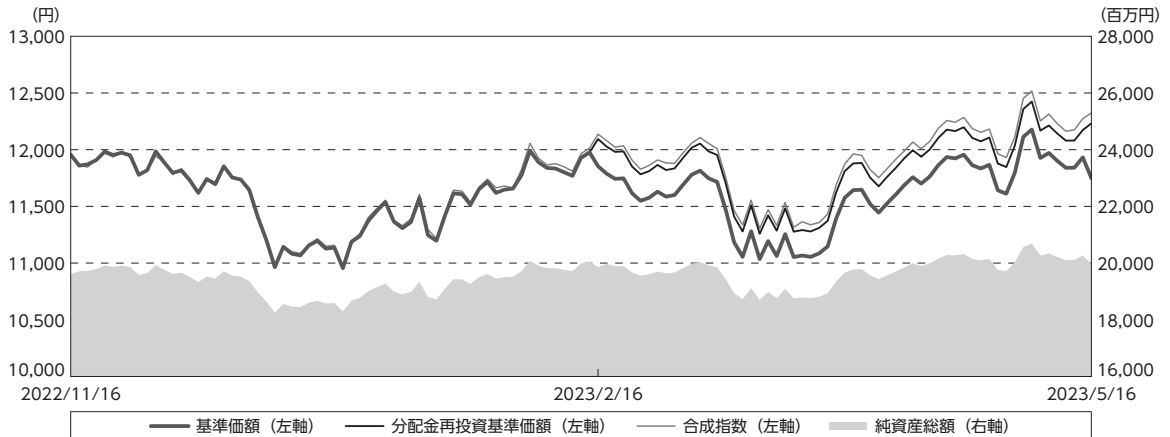
コールセンター 電話番号：0120-86-2514
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2022年11月17日～2023年5月16日)



第67期首：11,957円

第68期末：11,749円 (既払分配金 (税込み)：480円)

騰落率： 2.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および合成指数は、作成期首 (2022年11月16日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 合成指数は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、先進国株式および新興国株式に投資を行ない、先進国株式「MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)」80%と新興国株式「MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円ヘッジなし・円ベース)」20%を合成した指数の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

以下の要因による「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値上がり。

- ・米国の消費者物価指数（C P I）などのインフレ指標が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会（F R B）の利上げペース鈍化への期待が強まったこと。
- ・米国連邦公開市場委員会（F O M C）における利上げ幅の縮小観測が強まったこと。
- ・ユーロ圏の製造業・サービス業の購買担当者景気指数（P M I）速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだこと。
- ・円安／ユーロ高、円安／イギリスポンド高となったこと。

以下の要因による「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値上がり。

- ・中国において新型コロナウイルスを抑え込むゼロコロナ政策が解除され、中国景気の回復が期待されたこと。
- ・米国のC P Iなどのインフレ指標が市場予想を下回り、F R Bの利上げペース鈍化への期待が強まったこと。

<値下がり要因>

以下の要因による「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値下がり。

- ・インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと。
- ・米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化から、金融システムに対する不安が高まったこと。
- ・円高／アメリカドル安となったこと。

以下の要因による「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」の基準価額の値下がり。

- ・インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと。
- ・米国政権による米国企業の対中投資制限の観測から、米中对立の激化が懸念されたこと。

1 万口当たりの費用明細

(2022年11月17日～2023年5月16日)

項 目	第67期～第68期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	70	0.600	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(30)	(0.262)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(35)	(0.300)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(4)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.005	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.004)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.033	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(1)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	75	0.642	
作成期間の平均基準価額は、11,596円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

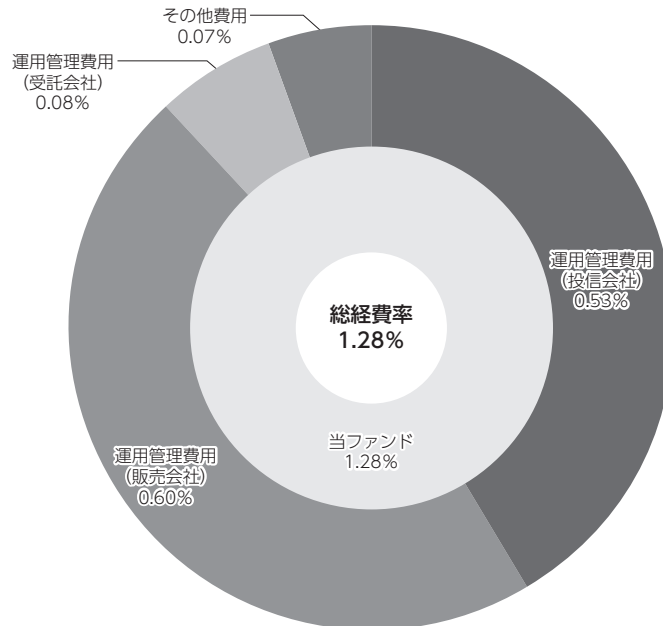
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.28%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

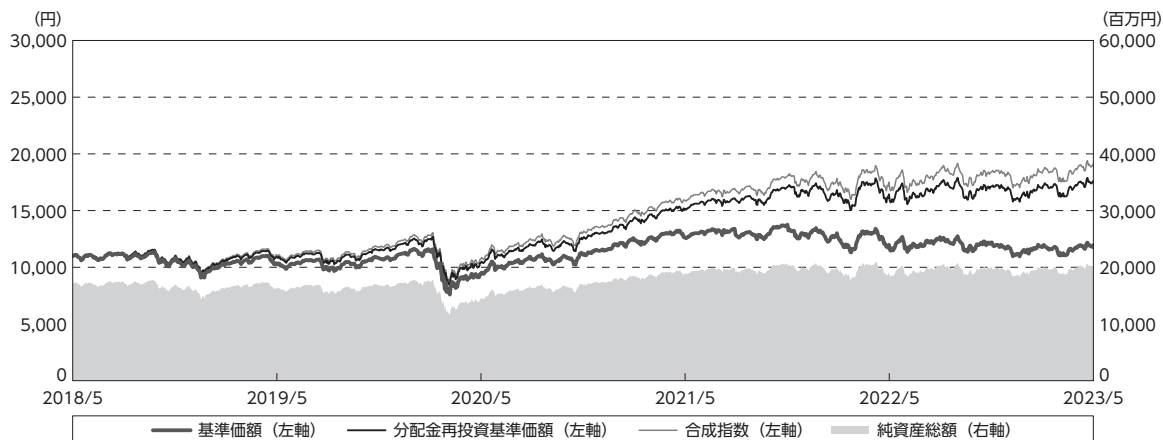
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年5月16日～2023年5月16日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および合成指数は、2018年5月16日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年5月16日 決算日	2019年5月16日 決算日	2020年5月18日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月16日 決算日	2023年5月16日 決算日
基準価額 (円)	10,985	10,247	9,111	12,656	11,790	11,749
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	570	450	1,050	1,710	1,080
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.5	△ 7.2	51.4	6.4	8.9
合成指数騰落率 (%)	—	0.0	△ 5.6	53.8	8.0	10.9
純資産総額 (百万円)	17,057	16,107	13,877	18,559	18,543	19,962

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 合成指数は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2022年11月17日～2023年5月16日)

(先進国株式市況)

海外株式市場では、期間の初めと比べて、米国や欧州各国などの株価は概して上昇しました。

米国の市場予想を下回る景況感に関する指標などを受けて景気悪化の可能性が懸念されたことや、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと、米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化から金融システムに対する不安が高まったことなどが株価の重しとなったものの、米国のCPIなどのインフレ指標が市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、FOMCにおける利上げ幅の縮小観測が強まったこと、ユーロ圏のPMI速報値が市場予想を上回り、ユーロ圏の景気悪化に対する過度な懸念が和らいだことなどを背景に、米国や欧州各国などの株価は概して上昇しました。

(新興国株式市況)

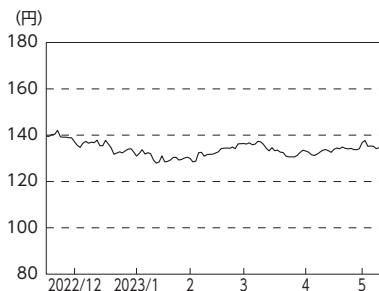
新興国株式市場では、期間の初めと比べて、新興国各国の株価はまちまちの動きとなりました。

インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことや、米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化から金融システムに対する不安が高まったこと、米国政権による米国企業の対中投資制限の観測から米中対立の激化が懸念されたことなどが株価の重しとなった一方、中国において新型コロナウイルスを抑え込むゼロコロナ政策が解除され中国景気の回復が期待されたことや、中国当局による不動産市場への支援やハイテク企業に対する規制緩和などを受けて、新興国株式市場への投資家心理が上向いたこと、米国のCPIなどのインフレ指標が市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことなどが株価の支援材料となり、新興国各国の株価はまちまちの動きとなりました。

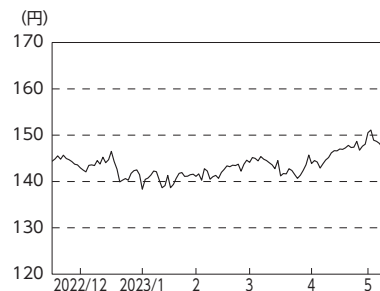
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移

**当ファンドのポートフォリオ**

(2022年11月17日～2023年5月16日)

(当ファンド)

当ファンドは、信託財産の純資産総額の80%程度を「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券、20%程度を「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券に投資し、運用を行ないました。

(海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド)

ベンチマークが採用している国の株式の中からリスクコントロールモデルを使用して構築したポートフォリオで、運用を行ないました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

(海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド)

ベンチマークが採用している国の株式の中からリスクコントロールモデルを使用して構築したポートフォリオで運用を行ない、期間を通じて株式組入比率を高位に維持しました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替えなどに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月17日～2023年5月16日)

期間中における基準価額は、2.3%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「合成指数」の上昇率3.1%を概ね0.8%下回りました。

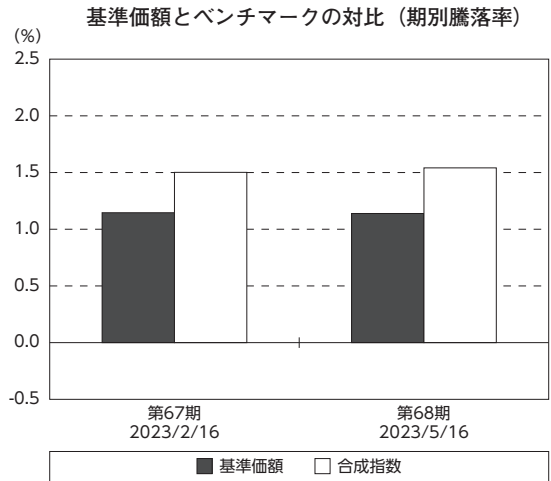
ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

＜プラス要因＞

- ・現物株式の組入れに基づく要因。
- ・配当金の受取り。

＜マイナス要因＞

- ・株式先物の組入れに基づく要因。
- ・海外カストディー・フィーや売買手数料などの諸費用。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 合成指数は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2022年11月17日～2023年5月16日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第67期	第68期
	2022年11月17日～ 2023年2月16日	2023年2月17日～ 2023年5月16日
当期分配金	240	240
（対基準価額比率）	1.984%	2.002%
当期の収益	37	118
当期の収益以外	202	121
翌期繰越分配対象額	3,686	3,566

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として信託財産の純資産総額の80%程度を「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券、20%程度を「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)」と「MSCI エマージング・マーケット・インデックス (円ヘッジなし・円ベース)」をそれぞれ80%と20%の配合で合成した指数に連動する投資成果をめざします。

なお、当ファンドが連動をめざす合成指数は、2023年8月17日付けの約款変更により変更となる予定です。

(海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド)

引き続き、ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に連動する投資成果をめざし、原則としてリスクコントロールモデルにより構築した現物株式ポートフォリオへの投資を継続するとともに、現物株式と株式先物取引を合計した実質的な株式組入比率を高位に維持する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド)

引き続き、ベンチマークである「MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に連動する投資成果をめざし、原則としてリスクコントロールモデルにより構築した現物株式ポートフォリオへの投資を継続するとともに、現物株式と株式先物取引を合計した実質的な株式組入比率を高位に維持する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

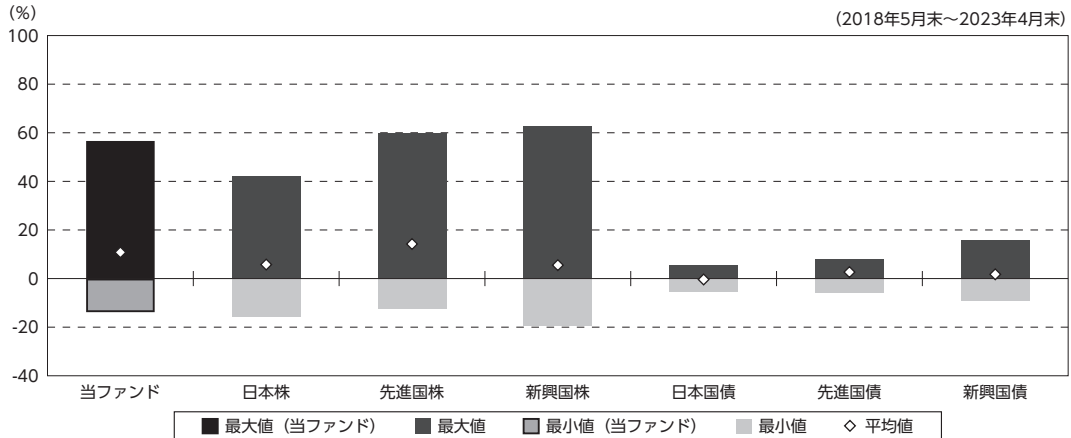
2022年11月17日から2023年5月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2006年6月12日から原則無期限です。	
運用方針	主として「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース）」と「MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）」をそれぞれ80%と20%の配分で合成した指数に連動する投資成果をめざします。	
主要投資対象	日興五大陸株式ファンド	「海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券および「海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド	新興国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	先進国株式の運用は、主として日本を除く先進国の株式に投資し、MSCI-KOKUSAIインデックス（円ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果をめざします。新興国株式の運用は、主として新興国の株式に投資し、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果をめざします。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△13.8	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4
平均値	10.8	5.8	14.2	5.5	△0.4	2.7	1.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年5月から2023年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●合成指数

合成指数は、投資先の親投資信託のそれぞれのベンチマークを標準組入比率で合成して算出しています。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年5月16日現在)

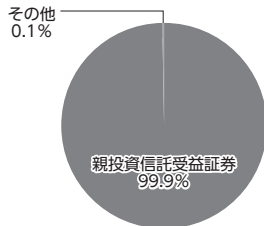
○組入上位ファンド

銘柄名	第68期末
	%
海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI (ヘッジなし) マザーファンド	80.0
海外新興国株式インデックスMSCIエマージング (ヘッジなし) マザーファンド	19.9
組入銘柄数	2銘柄

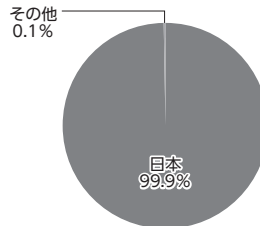
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

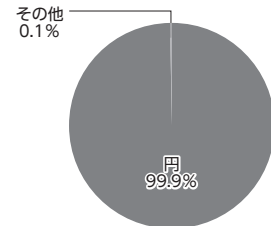
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

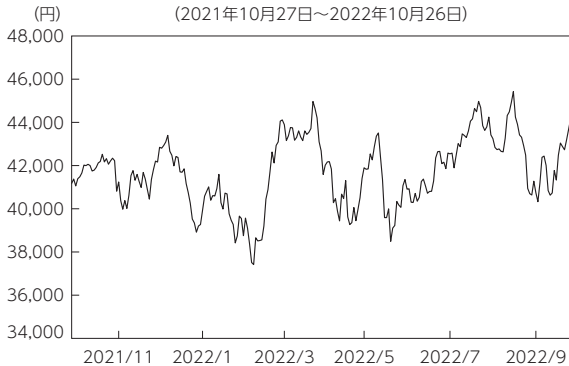
項目	第67期末	第68期末
	2023年2月16日	2023年5月16日
純資産総額	19,858,118,351円	19,962,676,734円
受益権総口数	16,752,362,115口	16,990,806,775口
1万口当たり基準価額	11,854円	11,749円

(注) 当作成期間(第67期~第68期)中における追加設定元本額は986,618,775円、同解約元本額は383,802,891円です。

組入上位ファンドの概要

海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年10月27日～2022年10月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券) (先物・オプション)	2 (1) (0) (0)	0.004 (0.003) (0.000) (0.001)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託証券)	1 (1) (0)	0.003 (0.002) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (9) (△2)	0.016 (0.021) (△0.005)
合計	10	0.023

期中の平均基準価額は、41,666円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

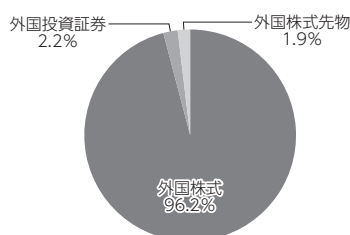
【組入上位10銘柄】

(2022年10月26日現在)

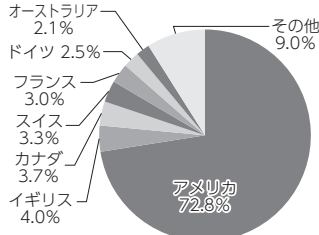
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	5.3%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.8%
3	AMAZON.COM INC	小売	アメリカドル	アメリカ	2.4%
4	SP EMINI	株式先物(買建)	アメリカドル	アメリカ	1.6%
5	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
6	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	1.3%
7	TESLA INC	自動車・自動車部品	アメリカドル	アメリカ	1.3%
8	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.1%
9	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー/サイエンス	アメリカドル	アメリカ	1.0%
10	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	1.0%
組入銘柄数			1,272銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

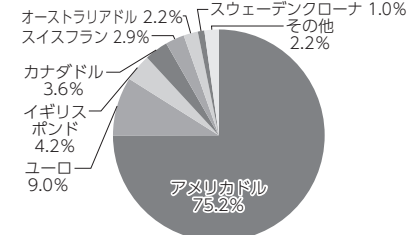
【資産別配分】



【国別配分】



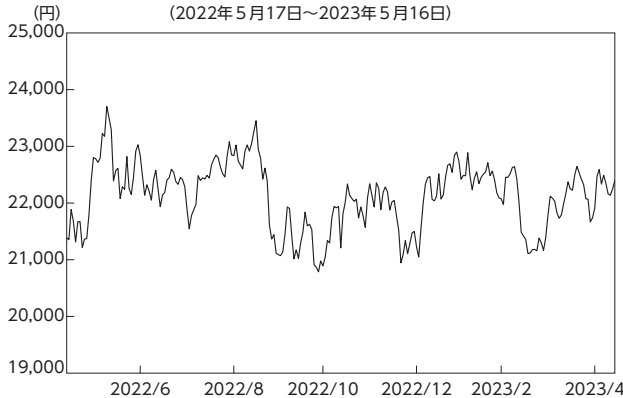
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年5月17日～2023年5月16日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	10 (6) (0) (3)	0.044 (0.029) (0.000) (0.015)
(b) 有価証券取引税 (株)	8 (8)	0.035 (0.035)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	60 (42) (18)	0.271 (0.188) (0.082)
合計	78	0.350

期中の平均基準価額は、22,042円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとと小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年5月16日現在)

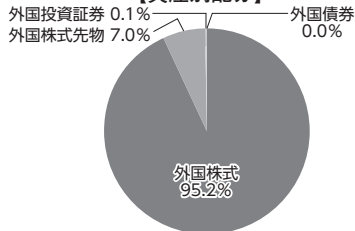
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	MINMSCIE	株式先物（買建）	アメリカドル	アメリカ	7.0
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	5.8
3	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	4.0
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	3.4
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス流通・小売り	香港ドル	ケイマン諸島	2.4
6	RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	1.4
7	MEITUAN-CLASS B	消費者サービス	香港ドル	ケイマン諸島	1.3
8	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	香港ドル	中国	1.0
9	ICICI BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	0.9
10	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	金融サービス	インドルピー	インド	0.9
	組入銘柄数		1,211銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

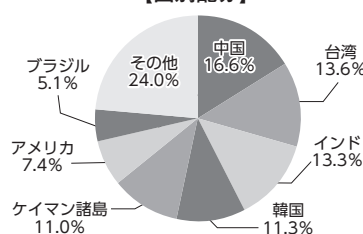
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

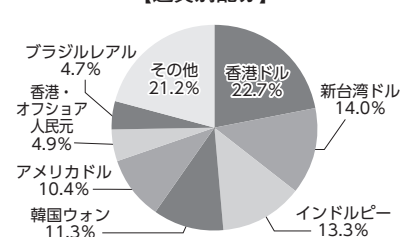
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。